

セーフティ通信

多重事故防止！

吹雪等で視界が悪いときは、乗用車等は速度を落としますが、トラックは視界がいくら良かったため速度ダウンが少なく、前方の速度ダウンの車両に追突して多重事故になることが多いのです。とにかく、規制速度を厳守するよう、機会あるごとにお願いたします。

現在、北海道トラック協会では、**労働時間の短縮**に向けて10km/hでも早く走行できる**高速道路を国へ要望**しております。

このような現状の中、一般道もさることながら、毎年のようにこの時期、**高速道路において多重交通事故**が発生しております。

2月23日午前8時30分頃、道央自動車道(美唄)で車両25台が絡む多重交通事故(10人ケガ)が発生しており、**吹雪のため視界が悪く、路面は圧雪アイスバーン**でありました。

2月24日午前11時45分頃、道央自動車道(北広島)で車両16台が絡む多重交通事故が発生しております。

この事故の数百メートル後方でも**大型トラックを含む車両9台が絡む多重交通事故**が相次いで発生しております。

当時、**降雪があり視界が悪く、路面は圧雪状態**でありました。

いずれの多重交通事故も原因は、**視界が良くないのに、いつも通りに走行**していることです。

- **速度規制は厳守！**
- **スピードリミッター違法改造禁止！**
- **デイ・ライトの実践！**
- **悪天候時の50km/h規制は厳守！**
- **とにかく車間距離は余裕を持って長めに！**

間違っても、事業用貨物**トラックが第1当事者とならない**ように、とにかく**速度を守り、車間距離を十分**とって、悪天候時はできるだけ早く道の駅等サービスエリア、パーキングエリアで**天候の回復を待つ**ことで、結果的に目的地に一番早く到着することができるのです。

路面状況、天候状況が良好でも高速道路では速度が速いため、この時期は多重交通事故が発生することがあります。

油断せず、規制速度を厳守し、車間距離は長めに余裕を持って走行することにより、多重交通事故から自らを守ることができ、業務目的を達成することができるのです。

本格的な冬のこの時期、**運行管理者等**の皆様は、**天候状況の情報を日々確認し、ドライバーに周知**して無事故で乗り切りましょう。

悪天候時はデイ・ライトを実施し、とにかく**車間距離**をとり、**速度ダウン**で事故防止。

～**デイ・ライト(昼間前照灯点灯)実践キャンペーン中**～